

2025 年 6 月 3 日

自由民主党「海事立国推進議員連盟総会」
～我が国海運の安定的な海上輸送確保・海事クラスター全体の強化を要望～

一般社団法人日本船主協会

2025 年 6 月 3 日 自由民主党「海事立国推進議員連盟総会」（会長：山本順三参議院議員、事務局長：赤池誠章参議院議員）が自民党本部で開催され、国会議員 16 名と国土交通省海事局、当協会を含む海事関係 7 団体が出席した。

赤池事務局長進行の下、冒頭、山本会長から「海事産業の強化は我々にとって最大の使命であり、『骨太の方針』にも関連の文言がしっかり盛り込まれるよう努力したい」旨の挨拶があった後、当協会、日本造船工業会、日本中小型造船工業会、日本内航海運組合総連合会、日本旅客船協会、日本舶用工業会、日本造船協力事業者団体連合会から要望事項の説明があった。



山本会長による挨拶



要望説明する篠原理事長

当協会からは篠原理事長が出席し、今年度末に期限切れを迎える外航船舶に係る特別償却および買換特例（圧縮記帳）の確実かつ無傷での延長、我が国海事クラスター全体の強化、米国通商代表部（USTR）による入港料課徴措置等の撤廃、脱炭素化、日本籍船の抜本的な制度改善、トン数標準税制の抜本的な見直しを含む国際競争力強化に向けた取組について支援を求めた。

各団体からの説明や意見交換を経て、「海事クラスターの強靱化に向けた施策実現に関する決議（案）」の審議を行い、修正は山本会長に一任された。最後に、再び山本会長より「海洋国家日本は今、大きな岐路に立たされている。日本籍船の改善や税制など、具体的な検討には大胆な発想が必要」等の発言があった。

当協会は、我が国海運業界が日本の経済と暮らしを支えるインフラ機能を果たし続けることができるよう、今後も関係方面に対して働きかけを行っていく。



会議の様様



進行を務めた赤池事務局長